

活動レポート

日本技術士会北海道本部 倫理委員会

文責：倫理委員会 幹事 小川 直仁

令和 7 年度第 2 回研究 WG(全体)活動報告

1. はじめに

倫理委員会では、以下の内容で令和 7 年度第 2 回倫理委員会研究 WG(全体)を開催しましたので報告いたします。

○ 令和 7 年度第 2 回倫理委員会研究 WG(全体)

開催日 2025 年 6 月 11 日(水)

場 所 かでる 2・7 610 会議室

参加者 19 名(対面：16 名、Web：3 名)

2. 令和 7 年度第 2 回倫理委員会全体 WG

(1) 富澤委員長挨拶

富澤委員長が欠席のため、冒頭挨拶を兼ねたコメントについて佐々木技術士より代読がありました。

内容は、各種倫理研修での対応、技術者倫理フォーラム、今後の委員会活動等に触れられたほか、新体制として委員長となる佐々木技術士を中心に現状で取り組む技術者倫理の研究・啓発の積極的な活動展開に関する一層の期待と激励がありました。

(2) 技術者倫理フォーラム

7 月 2 日に開催が迫る「第 15 回技術者倫理フォーラム」について、開催直前の各種調整および WG 活動報告に関する議論を行いました。議論の主な内容は以下の通りです。

- フォーラム当日の役割分担
- 司会の進行内容
- WG 活動報告 1「技術者倫理動向」の内容確認
- WG 活動報告 2「辞書が定義づける倫理と、エンジニアに必要な倫理」の内容確認

今回の技術者倫理フォーラムから、昨年度より始めた旭川サテライト会場に加えて、苫小牧サテライト会場、函館サテライト会場の計 3 会場でのサテラ

イト開催を行うことしました。各サテライト会場においても CPD 行事受講証を発行できるため、各地域で活躍する技術士や技術者の皆さんに広く継続教育による研鑽の機会となれば幸いです。

(3) WG 活動報告 1

WG 活動報告 1 は「技術者倫理動向」と題して、富澤技術士よりフォーラムにて報告することになりました。

主な内容は、日本技術士会統括本部倫理委員会の位置づけを出発点に、日本技術士会倫理綱領の改訂状況、統括本部倫理委員会の活動動向および、それらを踏まえた今後の北海道本部倫理委員会での活動の方向性についての報告となります。

(4) WG 活動報告 2

WG 活動報告 2 は「辞書が定義づける倫理と、エンジニアに必要な倫理」と題して、高橋技術士によりフォーラムにて報告することになりました。

根源に立ち返って「倫理という単語」の意味付けからの探求を行うとともに、他の異業種における倫理綱領と技術士倫理綱領との比較を行いました。

2. 倫理綱領

・2-2. 異業種の倫理綱領

学会名等	主な市場、特記事項
日本技術士会	公衆、科学技術全般
日本医師会	患者
日本弁護士連合会	クライアント
土木学会	公衆、100年～半永久
日本建築学会	公衆、街の美観

P14

高橋技術士発表資料(異業種の倫理綱領)

また、エンジニアに必要な倫理の考察事例としてチャレンジャー号爆発事故を題材として、技術者倫理における組織的問題点と個人的問題点の側面からの考察を行い、この事故に関わりのある人物別にそれぞれの経営者としての立場、技術者としての立場での問題点と課題について整理を行いました。

加えて、異なるアプローチ・視点からのチャレンジャー号爆発事故の捉え方を把握するため、Wikipedia(ウィキペディア)と ChatGPT ではこの事故の何をどう語っているのかについて調査しました。

ここで、Wikipedia(ウィキペディア)とは、世界中のボランティアによって共同で執筆・編集されているインターネット上の百科事典のことです。誰でも自由に閲覧・編集できる環境下に置いて、この事故をどのようにとらえているか興味深く調査を行いました。結果として、Wikipedia ではロジャース委員会報告を中心とした解説となっていました。

次に、ChatGPT とは、OpenAI 社が開発した、人間のように自然な文書で対話できる AI チャットボットのことです。説明するまでもなく、現在では世界中で多くのユーザーに利用されています。結果として、ChatGPT では、バージニア大学オンライン倫理センターにおける資料等を中心とした解説となっていました。

していただいた方々にご紹介することを意図しています。少しでも技術者倫理に興味を持っていただき、技術者倫理の啓蒙・普及を図っていければと考えています。

(5) 今後の体制について

前回、令和 7 年度第 1 回研究 WG(全体)で審議・了承となった 7 月からの新体制について改めて情報共有しました。

令和 7 年度 倫理委員会体制

	令和 6 年度	令和 7 年度
委員長	富澤技術士	佐々木技術士
副委員長	池田技術士 中埜渡技術士	中埜渡技術士 —
幹事長	佐々木技術士	佐藤技術士
副幹事長	佐藤技術士	—
幹事	山本技術士 長谷川技術士 小川技術士 本橋技術士	山本技術士 長谷川技術士 小川技術士 本橋技術士 庭田技術士 高橋技術士
相談役	日下部技術士	富澤技術士 池田技術士

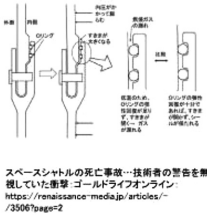


第 2 回研究 WG(全体)の様子

3. エンジニアに必要な倫理の考察事例

大まかな流れ

- ・ ボイジョリーは、Oリングの温度依存性を感じていた
- ・ Oリングからのガス漏れは、寒さ11.7℃で発生
- ・ 今回の飛行時の気温は、-1.7℃と予想
- ・ チョコール社の打ち上げ中止勧告に、NASAは疑問を呈する
- ・ 社内で飛行の妥当性を再ディスカッション
- ・ 上級副社長が技術担当副社長を口説く“技術者の帽子を脱ぎ、経営者の…”
- ・ 社内会議は飛行賛成に傾き、飛行にGOサイン
- ・ 翌日飛行したチャレンジャー号は、発射73秒後に爆発



P21

高橋技術士発表資料(事故の大まかな流れ)

WG 活動報告 2 の主なねらいは、当倫理委員会において、各委員が自由闊達に議論し、「判断のよりどころ」を自分なりに習得できるようにする活動の一端について、活動事例を交えてフォーラムに参加

3. おわりに

倫理委員会ではメンバーを募集しております。倫理委員会のメンバーとの意見交換や交流を通じて、技術者倫理についてさらに深く考えてみませんか？